

2024年度 コースガイドンス



九州情報大学 経営情報学部

◇経営情報学科◇

◇情報ネットワーク学科◇



目 次

◆コース制とは	2
---------	---

◆経営情報学科

経営情報学科のコース概要	3
--------------	---

会計・マネジメントコース	4
--------------	---

ベンチャー・IT マーケティングコース	6
---------------------	---

グローバルビジネスコース	8
--------------	---

◆情報ネットワーク学科

情報ネットワーク学科のコース概要	10
------------------	----

IT エンジニアコース	12
-------------	----

データサイエンスコース	14
-------------	----



▷ 「コース制」とは

この冊子は、経営情報学科・情報ネットワーク学科にそれぞれ設置しているコース概要（履修科目の特徴、養成する人材、目標資格、履修モデル）についてまとめています。

コース制を設置している目的は、『自分の将来の目標を明確にして、履修科目を主体的に選ぶことができる指針を定めること』にあります。本学では2年次から、両学科あわせて「5つ」のコースを設置しています。

2年次からコース選択することで、自分の目標に近づくことができる「イメージ」が湧くのではないかと期待しています。

この冊子を活用して今後の履修計画を立て、将来を見据えた勉学に励んで下さい。そして大学生活を実りあるものにして下さい。

教務部長

★経営情報学科のコース概要

「経営情報学科は『経営と情報』をキーワードに、多角的な視点から『経営学の真髄』を学びます」

ICT (Information and Communication Technology) とデジタル (Digital) 技術の進歩とともに経営学は大きな転換期を迎え、歴史的にも最も変化の激しい時代となっています。その時代の流れにそぐわない古い体質の企業は取り残され、新しい変化を柔軟に受け止めた企業は急成長をとげています。ICT とデジタル技術を取入れた経営は、現代の企業経営には必要不可欠であり、そのような素養を持った人材もまた同様に必要不可欠です。

経営情報学科では、先人たちの英知の結集として確立された経営学と先進的な ICT とデジタル技術の融合である最先端の「経営情報学」を学びながら、実践的な行動力を身に付けることができます。

これからの高度情報化社会の中では、経営情報学の重要性はますます高まります。同時に経営情報学を学ぶ人々の目標もさまざまに異なるでしょう。ICT とデジタル技術を活用しつつ、財務や会計のエキスパートをめざす人、起業家をめざす人、商品の企画、開発やマーケティング戦略を学びたい人、グローバルなビジネス環境などで活躍したい人などさまざまな目標を持つ人がいるでしょう。経営情報学はこうしたさまざまな目標の達成にこたえることのできる広範囲な内容をもった学問なのです。

★カリキュラムにおける、目指す学生像やコース内容など

コース	会計・マネジメント	ベンチャー・IT マーケティング	グローバルビジネス
	ビジネス全般を体系的に学び、企業内の経理・管理職又は会計・税務の専門家を目指すコースです。	マーケティングや経営の多角化、流通チャンネルの多様化など企業戦略について広く学び、ベンチャー精神を育み、起業家や事業承継者などを養成するコースです。	国際的な感覚・常識をもち、世界を股にかけてグローバルに活躍できるビジネスパーソンを目指すコースです。
	そのために、商取引やビジネス・マネジメントに必要な簿記・会計・税務および経営管理などの知識を総合的に学びます。	そのために、デジタル (Digital) & 情報技術 (IT) を活用した市場分析、販売促進、ビジネスプランニングなどを体系的に学びます。	そのために、語学スキルを身につけ国際政治経済情勢を俯瞰できる教養・知識を総合的に修得します。
	日商簿記検定、税理士、経営学検定など	販売士、中小企業診断士、FP IT パスポート、IT マーケティング検定など	各種英語検定、TOEIC、TOEFL など

目指す学生像
コース内容
資格検定
関連する主な



…会計・マネジメントコース…

《コーディネーター》桑野、長友、岩下、片山、春日、平山、山下

▷ 新入生諸君へ

現在、私達の社会では、マネジメント及び会計の重要性が叫ばれています。企業の不祥事を受けて、マネジメントの分野においては、企業のトップや従業員を監視監督する取締役会のあり方が問われています。また、日産におけるカルロス・ゴーン会長の逮捕など、企業が公表する財務諸表（簿記・会計に関する書類）に関するニュースがメディアに取り上げられない日はありません。現代社会で重視されているマネジメント、会計、簿記及び税法を学ぶことによって、本コースを選択した先輩方のように銀行、上場企業や税理士事務所への就職を目指しませんか。

▷ コースの概要

会計・マネジメントコースは、マネジメントに必要な経営管理の手法を学び、企業の経理部門への就職及び税理士を目指すためのコースです。このコースでは、文系の大学生が就職活動をする際に有利となる簿記検定の内容についても学びます。

▷ 履修モデル科目の特徴

①管理職に必要な経営管理の科目に関しては、1年次に「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」を配置し、2年次には「日本経営史」「経営組織論」を配置することにより、経営管理の手法及び経営管理者に必要な思考を習得していきます。

②経理・財務部門への就職にとって必要不可欠な簿記科目に関しては、1年次前期に日商簿記検定初級レベルの講義を展開する「簿記Ⅰ」を配置し、1年次後期に日商簿記検定3級レベルの講義を展開する「簿記Ⅱ」を配置し、2年次以降に日商簿記検定2級レベルの「中級簿記演習Ⅰ・Ⅱ」及び「原価計算論Ⅰ・Ⅱ」を配置することにより、段階的に日商簿記検定2級まで取得できるように支援します。

③税理士業務に関する科目に関しては、1年次に法律の基礎を学べる「法学」及び「日本国憲法」を配置し、2年次には「民事法」を配置し、3年次に「税務会計論」及び「税法学」を配置することにより、税法を理解する力を修得します。

④管理職、経理及び税理士業務等の全てに関係する知識として、会計学の初歩的内容を学ぶ「会計学入門」、会計の本質を解き明かす「会計学」、財務諸表の構造を理解する「財務会計論」、実際に財務諸表を作成する「コンピュータ会計」、財務諸表を分析する能力を育む「経営分析」、会社に適用される法律である「会社法」及び財務諸表の信頼性に関する「監査論」を配置しています。

▷ 養成する人材像

企業内の経理・管理職又は会計・税務の専門家を目指す人材を養成します。

▷ 資格について

会計・マネジメントコースでは、日商簿記検定、税理士及び経営学検定の取得を支援します。

▷ 履修モデル表

太字の科目はコース重点科目、それ以外はコース推薦科目

	前 期	単位数	後 期	単位数
1 年 次	経営学総論Ⅰ＊	2	経営学総論Ⅱ	2
	会計学入門＊	2	簿記Ⅱ	2
	簿記Ⅰ＊	2	会計学	2
	法学	2	日本国憲法	2
	6+2=8 単位		6+2=8 単位	
2 年 次	中級簿記演習Ⅰ	2	中級簿記演習Ⅱ	2
	原価計算論Ⅰ	2	原価計算論Ⅱ	2
	財務会計論	2	監査論	2
	コンピュータ会計	2	経営組織論	2
	経営分析	2		
	会社法	2		
	日本経営史	2		
	民事法	2		
	企業金融	2		
	12+6=18 単位		6+2=8 単位	
3・4 年 次	税務会計論	2	税法学	2
	2+0=2 単位		2+0=2 単位	

※ ＊ は必修科目

※ 重点科目 (34 単位) + 推薦科目 (12 単位) = 合計 (46 単位)



…ベンチャー・IT マーケティングコース…

▷ 新入生諸君へ 《コーディネーター》 秋吉、遠藤、鈴木、平田

「夢なき者に成功なし」、夢を持っている人には、他人を引きつける魅力があります。自分の夢を語れる人になって下さい。

▷ コースの概要

ベンチャー・IT マーケティングコースには、大きく分けて「ベンチャー」と「IT マーケティング」があります。まずベンチャーを志向し、新しい事業を興すベンチャー企業家、親から家業を引き継ぐ事業継承者、そして企業の中で働きながら革新的な事業を計画する企業内企業家に必要な能力は、自分の力で成功しようとする自立心、チャレンジ精神（ベンチャースピリット）、マネジメント力、そして経営センスが重要になります。一方、IT マーケティングを志向する人は、魅力的な商品の企画・開発・宣伝・流通に関する知識とネットワークに関する技術を学習し、マーケティングの感性を磨くことが重要になります。

本コースには、これらの知識と技術を兼ね備え、また、企業経営の基礎的な知識から実践的な実証研究にいたるまでを集中的に勉強し、業界のスペシャリストを養成するのに必要なカリキュラムが用意されています。

▷ 履修モデル科目の特徴

新入生のみなさんには、1年次に「ベンチャービジネス入門」を用意しています。この科目では、企業とは何か、ベンチャー企業とは何か、企業はどのようにして作られ経営されていくのか、など企業の全体像を把握することができます。さらに、中核的な科目としてはマーケティングを総合的に学ぶ「マーケティング論」を用意しています。ここで、ベンチャー・IT マーケティングコースで履修すべき科目の概略も紹介しています。

1年次で基礎的な学習を終えた後、2年次、3年次と進むにつれ、企業経営に不可欠な専門的知識、またネット社会に対応したマーケティングの応用科目も履修できます。

特に、3・4年次科目の「ビジネスプランニング」では、自分でビジネスチャンスを見つけ出し、ビジネスモデルを創造して、事業計画書を作成していくという実践的な演習を目的とする科目が用意されています。またベンチャー・IT マーケティングコースでは、現役の企業家が講師となる特別講座もあり、ベンチャースピリットを肌で感じ取ることができでしょう。

また、消費者の心理的・社会的行動などを体系的に学ぶ「消費者行動論」、Web 関係のビジネスについて学ぶ「デジタルビジネス論」などがあります。またそれと併せ、SNS にも対応する最新の情報技術についても学年進行に沿って深く学んでいきます。

▷ 養成する人材像

ベンチャー企業家、経営革新力のある事業継承者、企業内企業家、またはメーカー、流通、広告業界において、イノベーター(革新者)となりうる人材、特に最新のマーケティングとネットワークの知識を併せ持ったスペシャリストを養成します。

▷ 資格について

IT パスポート、販売士、中小企業診断士、高校教諭一種免許状（情報）等

▷ 履修モデル表

太字の科目はコース重点科目、それ以外はコース推薦科目

	前 期	単位数	後 期	単位数
1 年次	マーケティング論*	2	消費者行動論	2
	経営戦略論	2	ベンチャービジネス入門	2
	簿記Ⅰ*	2	経営学総論Ⅱ	2
	経営学総論Ⅰ*	2		
	会計学入門*	2		
	4+6=10 単位		4+2=6 単位	
2 年次	コマース論Ⅰ	2	経営組織論	2
	財務会計論	2	デジタルビジネス論	2
	マーケティング・リサーチ	2	コマース論Ⅱ	2
	経営情報学Ⅰ*	2		
	経営分析	2		
	マネジメント科学	2		
	SNS 活用と問題解決	2		
	6+8=14 単位		4+2=6 単位	
2・3 年次	中小企業論	2	ベンチャー企業論	2
			経営情報学Ⅱ	2
			マネジメントゲーム	2
	2+0=2 単位		2+4=6 単位	
3・4 年次	労務管理論	2	ビジネスプランニング	2
	2+0=2 単位		2+0=2 単位	

※ * は必修科目

※ 重点科目 (26 単位) + 推薦科目 (22 単位) = 合計 (48 単位)



…グローバルビジネスコース…

【コーディネータ】藤内、小川、古川、フリン、全、坂上

▷ 新入生諸君へ

このコースは、企業が求める即戦力になる人材を養成するためのコースです。今、企業はグローバル化・情報化に備えて、英語を中心とした外国語ができ、コンピュータが使える、基礎的な経営や会計の知識のある人材を求めています。

▷ コースの概要

経済のボーダーレス化がますます進展する中で、これからの企業人は、ただ単に経営・会計の知識やコンピュータの技術を習得しただけでは十分とは言えません。つまり国際政治・経済・文化にかかわる情報について分析でき、そして将来を予測できる柔軟で理論的な思考が強く必要とされるのです。さらに英語を中心とした外国語が現実の企業活動の場で不可欠なものになっています。

このコースは、企業に入ってから必要な知識やスキルをバランスよく勉強できるように作られたコースです。また、グローバル化・情報化の時代に対応できるように語学や情報の学習にも重点を置いたコースです。

▷ 履修モデル科目の特徴

このコースの履修モデルの特徴は、グローバルな視野を養成できるように、英語を始めとする外国語や国際政治・経済など幅広い分野の科目の履修を薦めている点にあります。特に英語には力を入れていて、使える英語の習得を目指して、その内容もビジネスで実際に役立つものを学習します。

▷ 養成する人材像

グローバルで多角的な視野とビジネスに通用する語学力を持ち、ビジネスやコンピュータに関する実用的知識・技術を備えた国際社会の第一線で活躍するビジネスパーソンを養成します。

▷ 資格について

特に英検、TOEIC、韓国語検定、中国語検定の受験を強く推奨し、支援します。また TOEFL、国連英検、秘書検定、国際秘書検定、経営士、販売士、簿記、中小企業診断士、IT パスポートなどの各種試験の受験を推奨し、支援します。

▷ 履修モデル表

太字の科目はコース重点科目、それ以外はコース推薦科目

	前 期	単位数	後 期	単位数
1 年次	総合英語*	2	英検中級・TOEIC 基礎	2
	英会話 Basic I	2	英会話 Basic II	2
	4+0=4 単位		4+0=4 単位	
2 年次	英会話 Advanced I	2	英会話 Advanced II	2
	初級中国語	2	国際経営論	2
	初級韓国語	2	英検上級 II・TOEIC 応用 II	2
	英検上級 I・TOEIC 応用 I	2	中級中国語	2
			中級韓国語	2
			国際情報分析	2
	8+0=8 単位		6+6=12 単位	
3 ・ 4 年次	ビジネス英語 I	2	ビジネス英語 II	2
	国際経済論	2		
	4+0=4 単位		2+0=2 単位	

※ * は必修科目

※ 重点科目 (28 単位) + 推薦科目 (6 単位) = 合計 (34 単位)

※ 初級中国語・中級中国語および初級韓国語・中級韓国語 については、それぞれを母国語としている者は履修できません。



★情報ネットワーク学科のコース概要

▷ 情報ネットワーク学科のコース

情報ネットワーク学科には、「IT エンジニア」と「データサイエンス」の2つのコースがあります。

「IT エンジニア」コースでは、私たちの生活を豊かにする IT システムの仕組みを理解し、システムの企画、開発、運用などに携わる IT エンジニアを養成します。最近では、Web を利用した様々なシステムが構築され、私たちはスマートフォンを利用して、ショッピング、座席の予約、SNS などのコミュニケーションツールとして IT システムを活用しています。

「データサイエンス」コースでは、Big Data とされる膨大なデータを解析し、必要な情報や思いがけない情報を導き出して、人や企業の活動に活かせる知識や技術を学びます。

詳しくは、図表やコース解説を参照してください。

<情報ネットワーク学科>

コース	IT エンジニア	データサイエンス
目指す学生像	IT システムを理解し、IT システムの企画、開発、運用などに携わる IT エンジニアを目指します。	膨大なデータを構造化しながら整理し、解析することで必要な情報を導き出せるデータサイエンティストを目指すコースです。
コース教育内容	そのために、IT システムで運用するサービス、特に Web サービスについて学びます。また IT システムの構築について学びます。	様々なデータを分析するための論理的な思考能力や統計解析スキル、データ処理するための幅広い IT 知識、およびデータを活用して事業戦略の手法を導き出すためのビジネスに関する幅広い知識やプレゼンテーション能力を修得します。
コースの概要	基本的な IT システムの構成や仕組みについて学びます。具体的には Web コンテンツの制作やネットワーク運用技術を学びます。さらに、このような IT システムの開発、運用、管理について実践を通して学びます。	本コースでは、様々なデータを分析するための論理的な思考能力や統計解析スキル、データ処理するための幅広い IT 知識、およびデータを活用して事業戦略の手法を導き出すためのビジネスに関する幅広い知識やプレゼンテーション能力を修得し、ビジネスと IT どちらの世界にも精通した人材を育成します。
キーワード	Web コンテンツの制作 IT システムの開発 ネットワークの運用	データ分析の手法 データの経営的な活用
関連する 主な資格・検定	IT パスポート試験、基本情報技術者試験、 CCNA・CCNP	統計検定、IT パスポート

情報ネットワーク学科で学ぶ主な内容

私たちの生活に不可欠なインターネットを中心に様々な技術, 知識, 情報を学びます

技術・知識・情報



分類	分野	内容
技術	セキュリティ	ネットワークを安全に利用するための技術
	ネットワーク技術	ネットワークを安定的に利用するための技術
	情報システム	私たちの生活を便利にする IT 技術
	Web プログラミング	私たちとデータベースをつなぐ技術
	データベース	大量のデータを効率よく管理する技術
	データ分析	データを分析して新たな情報を作り出す技術
	プログラミング	大量のデータをプログラムで処理する技術
	機械学習	人間の判断を自動化する技術
	人工知能	人間の知能を機械へ与える技術
知識	数学	大量のデータから情報を取り出す知識
	統計学	人間が判断するための情報を作り出す知識
	経済学	情報が社会に与える影響を考える知識
	経営学	ビジネスの仕組みに関する知識
	会計学	会社の経営状態を把握する知識
情報	インターネット	あらゆる情報の宝庫
	Big Data	膨大な量の情報
	ビジネス	私たちの生活を豊かにするビジネス
	SNS	世界中の人々とのコミュニケーション



∴IT エンジニアコース∴

《コーディネーター》 合田、プラマンタ、車

▷ コースの概要

21 世紀に入ってから携帯電話の普及やスマートホンの普及によって電子機器が身近なものとなりました。これらの電子機器を使って、インターネットの先にある IT システム（ネットショッピングサイトなど）にアクセスするのは、特別なことではなくなっています。しかしながら、ますます複雑化するシステムをブラックボックスとして中身をよく知らないまま使うことも普通になりました。そのため、複雑なシステムやそれらの構成要素について理解したりシステム全体を構築したりすることができる IT エンジニアの役割は重要です。これらの需要に対応できる人材を目指して、専門的能力の向上を図ります。

▷ 養成する人材像

本コースでは、「IT エンジニア」を養成します。IT エンジニアとは、情報技術（IT）に関わる技術者の総称です。例えば、IT システムを企画したり、構築したり、運用したりする人です。システムを構築する（作る）だけでなく、よりよいシステムを企画し（考え）たり、運用（動か）したりすることも IT エンジニアの必要な役割です。より具体的には、IT の基礎を確実に身につけ、プロジェクトチームにおいて経験者の指導の下でコミュニケーションをとりながら協調作業ができる職業人を目指します。

▷ 履修モデル科目の特徴

IT エンジニアの習得すべき知識・技能は多岐に渡ります。4 年間という限られた期間で IT エンジニアを目指せるように、IT システムやネットワークシステムの初歩、プログラミング、システム開発などを学びます。

▷ 資格について

まずは基礎的な資格として IT パスポート試験があります。さらに、プログラミング分野では基本情報技術者試験、ネットワーク分野では、Cisco 認定 CCNA や CCNP などがあります。自分の判断で場当たりに挑戦するのではなく、きちんと IT パスポート試験から合格という成果を確実に積み上げていくことを期待しています。

▷ 履修モデル表

太字の科目はコース重点科目、それ以外はコース推薦科目

	前 期	単位数	後 期	単位数
1 年 次	情報学入門 *	2	情報ネットワーク入門	2
	基礎数学	2	情報数学 I	2
	プログラミング初歩 I *	2	Web デザイン	2
	会計学入門 *	2	プログラミング初歩 II	2
	マーケティング論	2	計算機システム論	2
	コンピュータ実務演習 I	2	コンピュータ実務演習 II	2
	大学基礎総合	2	文章表現	2
			会計学	2
	6+8=14 単位		10+6=16 単位	
2 年 次	情報処理技術演習 I *	2	情報処理技術演習 II	2
	プログラミング実践 I	4	プログラミング実践 II	4
	スイッチング技術	2	ルーティング技術	2
	Web システム	2	Web プログラミング I	2
	SNS 活用と問題解決	2	デジタルビジネス論	2
	アルゴリズムとデータ構造	2	オペレーティングシステム論	2
	データベース論	2	統計学	2
	ビジネスプログラミング	2		
	情報数学 II	2		
	マネジメント科学	2		
	統計学入門	2		
	16+8=24 単位		14+2=16 単位	
3・4 年 次	Web プログラミング II	2	Web プログラミング III	2
	情報セキュリティ *	2	統計プログラミング	2
	インターネット技術	2	計測・制御論	2
	情報システムの開発と管理	2		
	ネットワークアプリケーション構築(通年)		4	
	マルチメディア論	2		
	モバイルネットワーク	2		
	12(通年科目含む)+4=16 単位		2+4=6 単位	

※ *は必修科目

※ 重点科目 (60 単位) + 推薦科目 (32 単位) = 合計 (92 単位)



…データサイエンスコース…

《コーディネーター》 荒平、宮崎、中島

▷ コースの概要

コンピュータの歴史は、ハードウェアの進化、ソフトウェアの充実を経て、今はデータの活用が中心となっています。企業はより良いサービスを提供するため、顧客の嗜好や行動に関するデータを収集し続けています。データは集めるだけでは意味がありません。それをどのように活用するかが重要になります。「データサイエンス」とは、情報科学・統計学・アルゴリズムなどを駆使して、「社会にとって有益な知見」をデータから見出すための科学的なアプローチです。つまり、「社会を知ること」と「技術を得ること」が重要になります。

データサイエンスに求められるスキルは、大きく分けて①統計解析スキル②IT スキル ③ビジネススキルの3種類です。①統計解析スキルは、数学知識・データ分析処理手法の知識・データ分析ソフトウェアの利用技術です。②IT スキルは、IT 知識全般・データベースの知識・プログラミングです。③ビジネススキルは、ビジネスに対する理解・論理的思考能力・文書作成能力・プレゼンテーション能力が求められます。

▷ 養成する人材像

本コースでは、「データサイエンティスト」を養成します。データサイエンティストとは、データを分析しその分析結果を事業に活かす人です。多くの企業は、これまでに蓄積されたデータを企業経営に生かすことが重要だと感じています。具体的には、抱えている課題を解決したり仕事を効率化したり、顧客や組織に対する新たなサービスの提供など企業は様々なことを求めています。これらを実現するためにはデータサイエンティストの存在が不可欠です。企業の所有するデータを積極的に活用するために、多種多様な業種でデータサイエンティストの採用が増えています。

▷ 履修モデル科目の特徴

様々なデータを分析するための論理的な思考能力や統計解析スキル、データを処理するための幅広い IT 知識、およびデータを活用して事業戦略の手法を導きだすためのビジネスに関する幅広い知識やプレゼンテーション能力を修得します。

▷ 資格について

データサイエンスのスキルに対応する資格は下記のとおりです。

①統計解析スキルは統計検定②IT スキルおよび③ビジネススキル に対応する資格試験は IT パスポートなど多岐に亘ります。

資格取得を目指す人は、早くから計画的に努力されることを勧めます。

▷ 履修モデル表

太字の科目はコース重点科目、それ以外はコース推薦科目

	前 期	単位数	後 期	単位数
1 年 次	情報学入門 *	2	情報数学Ⅰ	2
	基礎数学	2	プログラミング初歩Ⅱ	2
	プログラミング初歩Ⅰ *	2	消費者行動論	2
	マーケティング論	2	コンピュータ実務演習Ⅱ	2
	コンピュータ実務演習Ⅰ	2	情報リテラシー演習Ⅱ	2
	会計学入門 *	2	Web デザイン	2
	経済学	2	情報ネットワーク入門	2
	大学基礎総合	2	文章表現	2
			会計学	2
	10+6=16 単位		10+8=18 単位	
2 年 次	データベース論	2	統計学	2
	プログラミング実践Ⅰ	4	プログラミング実践Ⅱ	4
	アルゴリズムとデータ構造	2	デジタルビジネス論	2
	統計学入門	2	情報処理技術演習Ⅱ	2
	情報数学Ⅱ	2		
	情報処理技術演習Ⅰ *	2		
	ビジネスプログラミング	2		
	マーケティング・リサーチ	2		
	マネージメント科学	2		
	経営分析	2		
	12+10=22 単位		6+4=10 単位	
3・4 年 次	情報セキュリティ *	2	データモデリング	2
	多変量解析	2	統計プログラミング	2
	データ解析	2	人工知能	2
	機械学習	2	計量経済分析	2
	8+0=8 単位		8+0=8 単位	

※ * は必修科目

※ 重点科目（54 単位）＋推薦科目（28 単位）＝合計（82 単位）



Kyushu Institute of Information Sciences

九州情報大学

未来が求める自分になれる